

**脳動静脈奇形の
ガンマナイフ治療
personal experiences**

**岡山東部脳神経外科
滝澤貴昭**

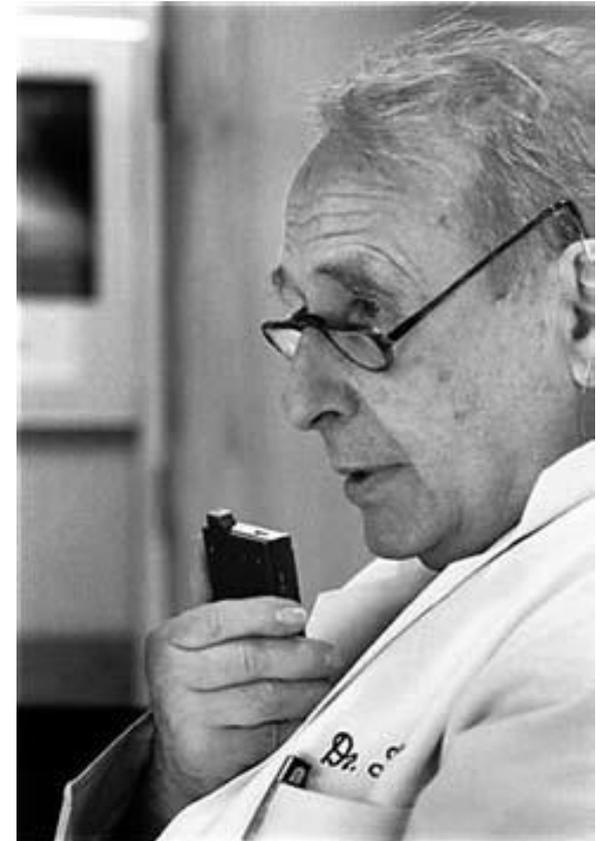
岡村一心堂病院ガンマナイフセンター指導医

Training about Gamma Knife



Lars Leksell Gamma Knife Center for Surgery

**Health Science Center
University of Virginia**



Dr. Ladislau Steiner
1993年11月--1994年1月

Training about Linac-based SRS



UCLA Medical Center



Dr. Antonio De Salles
neurosurgeon
1994年2-3月



**BRIGHAM AND
WOMEN'S HOSPITAL**

A Teaching Affiliate of Harvard Medical School

DANA-FARBER/BRIGHAM AND WOMEN'S



CANCER CENTER



Dr. Jay S. Loeffler
Radiation oncologist
1993年9-10月

ガンマナイフの臨床経験



 藤枝平成記念病院

ガンマユニットセンター施設長
藤枝平成記念病院 院長
平井達夫先生

Stereotaxis & Gamma unit center
脳神経外科部長
1994年4月--1997年12月
約1400例

ガンマナイフの臨床経験



医療法人岡村一心堂病院

よりよい医療を地域の人々に

ガンマナイフセンター指導医
1998年3月--現在

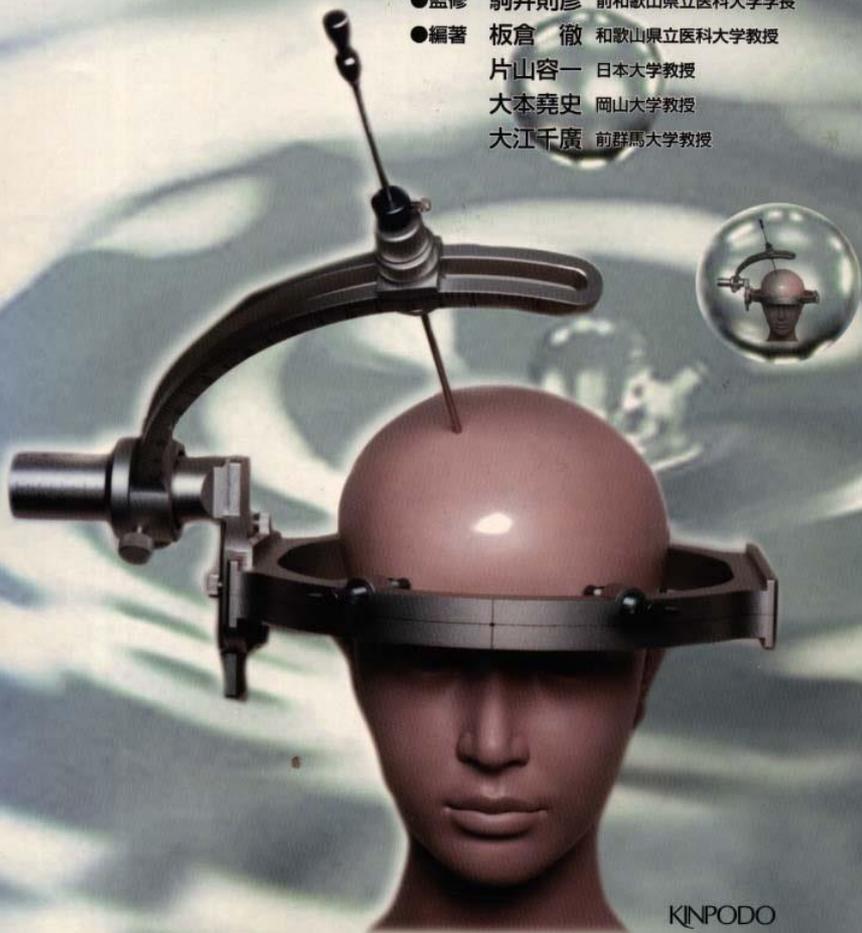
全ての治療症例について
プランニング立会いまたは遠隔診断

AVMとTNは全例プランニング立会い

Stereotactic Neurosurgery

定位腦手術

- 監修 駒井則彦 前和歌山県立医科大学学長
- 編著 板倉 徹 和歌山県立医科大学教授
- 片山容一 日本大学教授
- 大本堯史 岡山大学教授
- 大江千廣 前群馬大学教授



KINPODO

Stereotactic Neurosurgery

定位腦手術

●監修 駒井則彦

- 編著 板倉 徹
- 片山容一
- 大本堯史
- 大江千廣

●著 (執筆順)

- 駒井則彦 前和歌山県立医科大学学長
- 中野勝磨 三重大学医学部教授
- 平井達夫 藤枝平成記念病院副院長
- 菊地正昭 藤枝平成記念病院ガンユニットセンター
- 篠田義一 東京医科歯科大学医学部教授
- 寛 慎治 東京医科歯科大学医学部生理学第1講座
- 佐藤二美 東京医科歯科大学医学部解剖学第3講座
- 伊澤佳子 東京医科歯科大学医学部生理学第1講座
- 那 杰 東京医科歯科大学医学部生理学第1講座
- 近藤智善 順天堂大学医学部助教授
- 小倉光博 和歌山県立医科大学脳神経外科
- 西野仁雄 名古屋市立大学医学部教授
- 飛田秀樹 名古屋市立大学医学部生理学第2講座
- 横田敏勝 滋賀医科大学名誉教授
- 大江千廣 前群馬大学医学部教授
- 中井國雄 和歌山県立医科大学助教授
- 伊関洋 東京女子医科大学講師
- 土肥健純 東京大学大学院工学系研究科教授
- 滝沢貴昭 岡山東部脳神経外科病院院長
- 片山容一 日本大学医学部教授
- 山本隆充 日本大学医学部脳神経外科講師
- 板倉 徹 和歌山県立医科大学教授
- 中井易二 和歌山県立医科大学脳神経外科
- 中尾直之 和歌山県立医科大学脳神経外科
- 伊達 勲 岡山大学医学部脳神経外科
- 大本堯史 岡山大学医学部教授
- 上松右二 和歌山県立医科大学脳神経外科
- 富田 享 岡山大学医学部脳神経外科
- 山城勝美 琉球大学医学部講師
- 平 孝臣 東京女子医科大学脳神経外科
- 吉井信夫 前東邦大学医学部教授
- 牛久保行男 東邦大学医学部第二脳神経外科
- 坪川孝志 日本大学医学部客員教授
- 横山徹夫 浜松医科大学助教授
- 杉山憲嗣 浜松医科大学講師
- 植村研一 浜松医科大学教授
- 尾崎文教 前和歌山県立医科大学講師
- 山崎俊樹 島根医科大学助教授
- 森竹浩三 島根医科大学教授

1998年10月発行

V. ガンマナイフと定位脳手術……………(平井達夫・滝沢貴昭) 179

1. ガンマナイフ装置の概略 179
2. ガンマナイフ治療の実際 181
3. ガンマナイフの適応症と成績 181
4. ガンマナイフ治療の定位脳手術への応用 181
 - A. パーキンソン病に対するガンマナイフ
定位脳手術 183
 - B. 三叉神経痛に対するガンマナイフ治療 187
 - C. てんかんに対するガンマナイフ治療 189
5. 定位脳手術におけるガンマナイフ治療の
問題点 190

岡村一心堂病院ガンマナイフセンター
脳動静脈奇形のガンマナイフ治療施行症例
71症例

平成10年3月～平成24年4月末 蓮井・滝澤

AVMに対するガンマナイフ治療

典型的な効果症例

継時的経過観察にて閉塞した症例

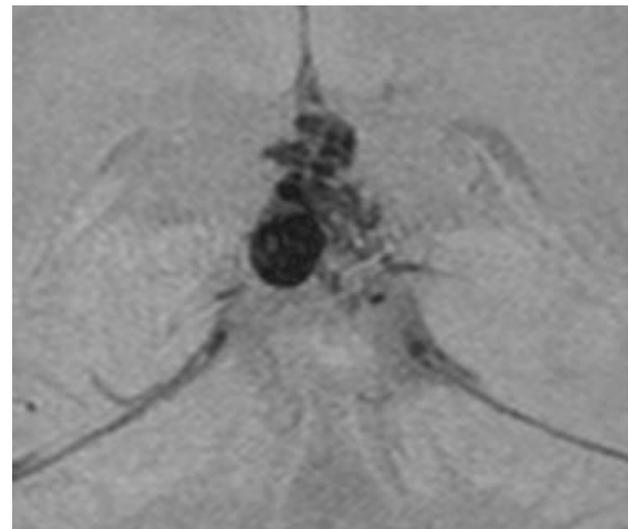
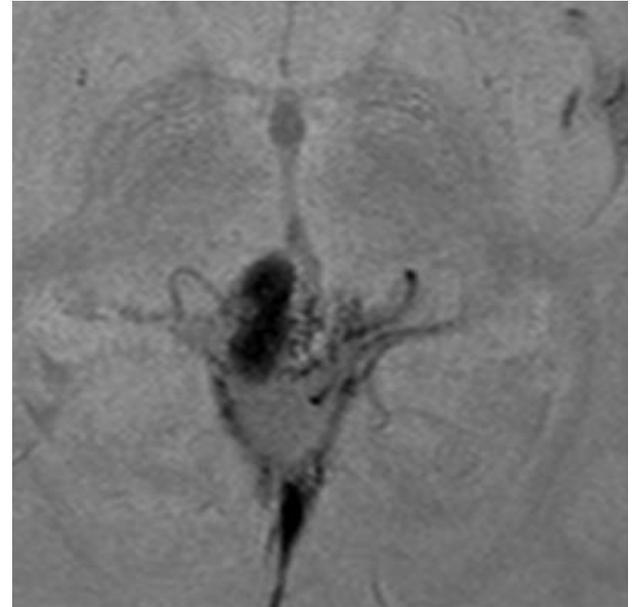
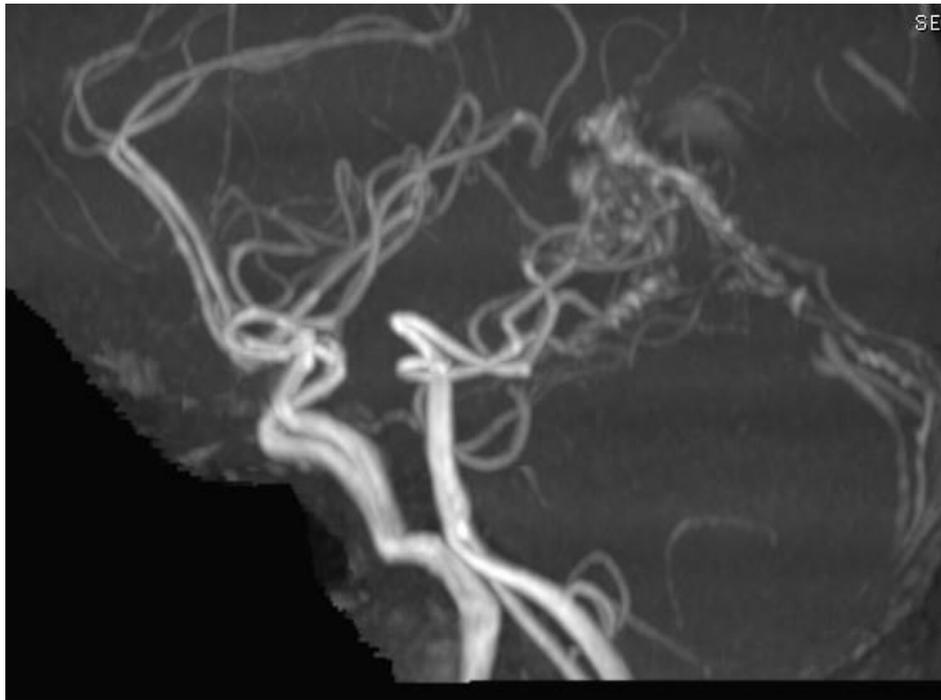
フォローアップ中断中に再出血し再治療を予定している症例

フォローアップ中に嚢胞を形成し、微小出血を繰り返していると推察される症例

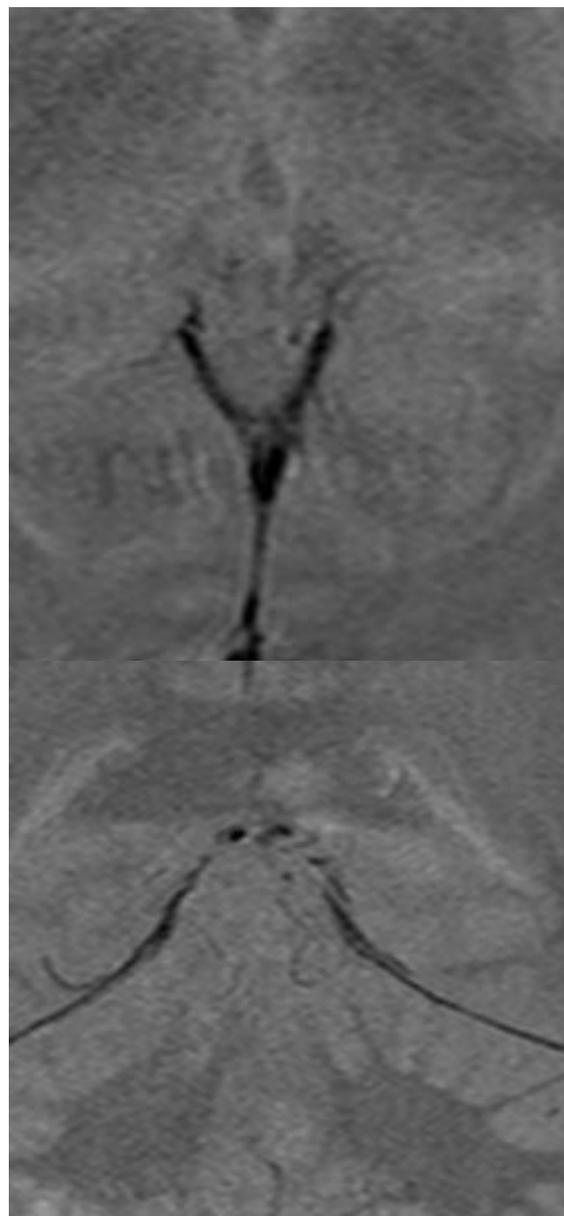
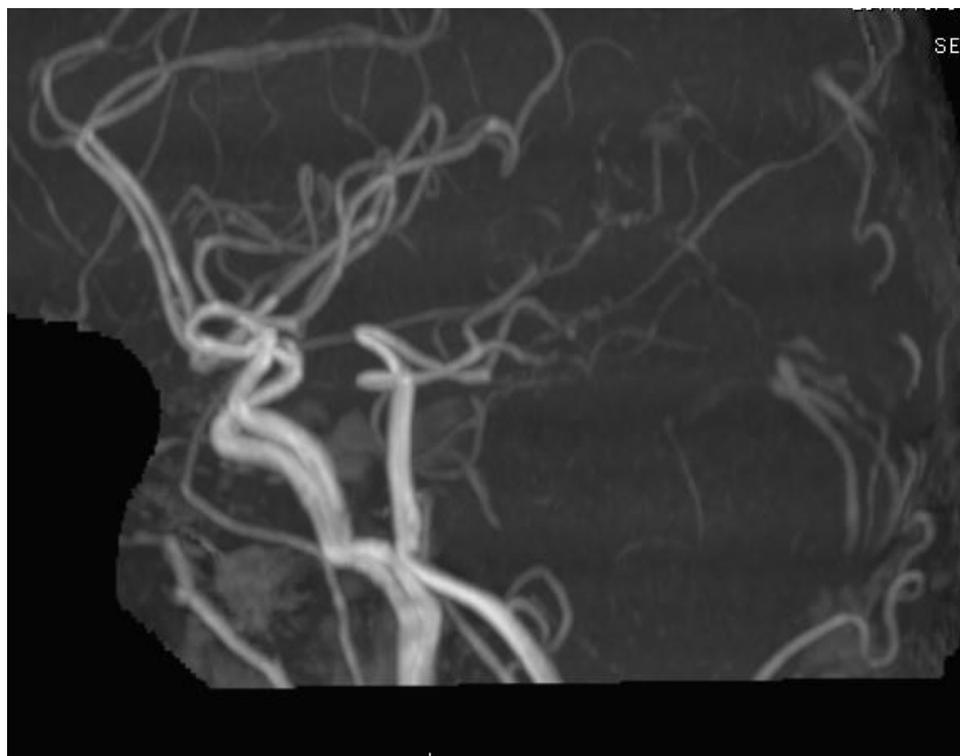
典型的な効果症例

継時的経過観察にて閉塞した症例

脳ドックにてMRI施行 異常あり紹介来院



ガンマナイフ後 3年2カ月



AVMに対するガンマナイフ治療後には継続的な画像フォローアップが必要である。

MRIで閉塞が確認されるまでは必ずフォローアップが必要である。

MRIで閉塞が確認されても症例によってはDSAによる確認が望ましい。

MRIで閉塞が確認されても、嚢胞形成出現について経過観察が必要である。